

令和 5 年度 大阪市立福島区老人福祉センター 事業実績報告書

施設概要

施設名	大阪市立福島区老人福祉センター 愛称：きらめきセンター
所在地	大阪市福島区海老江 6 丁目 1 番 14 号
施設規模	鉄筋コンクリート造 4 階建のうち 2 階部分を使用 延床面積 500.41m ²
主な施設	大広間、会議室、クラブ室など
市が設定した数値目標	センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足と回答される方」の割合を 85.2%以上とする。(市内 26 館における過去 3 年間の平均) ※感染症拡大を防止する措置のため、延べ利用人数・登録人数は目標としない。

指定管理者

団体名	社会福祉法人 大阪市福島区社会福祉協議会
事務所の所在地	大阪市福島区海老江 6 丁目 2 番 22 号
代表者	会長 矢山 英夫
指定期間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日
報告対象期間	令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日
担当者	小園 剛
連絡先	(06) 6453-2357
令和 4 年度満足度	93.7% (193/206)

1 指定管理業務の実施状況(1)施設の運営方針

指定管理者の 5 年目として、つながり支えあう福祉コミュニティの創出、福祉のまちへとつなぐ架け橋としての役割を担うことを基本方針とした。また、「昭和レトロのアメニティーと手づくりのホスピタリティー」をモットーに事業運営をした。3 年を超えるコロナ禍も 5 月 8 日付で新型コロナウイルスの 5 類感染症への移行に伴い次の 5 本柱に注力し、高齢者のニーズに沿ったセンターの事業運営を行った。

ア「介護予防の拡充」 イ「生きがいと健康の追及」 ウ「相談・情報提供事業」 エ「老人クラブの活動支援」 オ「同好会支援による活性化」の 5 点を重点項目として取り組んだ。

ア 「介護予防の拡充」

3 年を超えるコロナ禍は高齢者に想像以上のダメージを与えており、フレイル・プレフレイル化、認知症気味の方が増えている現状を認識しセンターならではの機能の発揮をし、特に一般介護予防に注力して事業展開を図った。

百歳体操以外に指導者資格を持つ先生による 5 種の体操・ストレッチの計 6 種類のメニューを年間通して提供した。また、当センターの看板の介護予防メニューの「数独」「大人のぬりえ」は好評であった。

イ 「生きがいと健康追及」

当センターは、海老江保育所、子ども・子育てプラザが併設する福祉複合施設である。その恵まれたロケーションをフルに発揮できるよう定期的に管理職での打合せを行い各種世代間交流事業として子どもも参加する事業展開を図った。子どもとの触れ合いは、高齢者の心のケアにもなり大変好評であった。

ウ 「相談・情報提供事業」

「センターだより」は多くの方が目を通してしている。新規利用者発掘に従来の配架以外に、区社協 地域包括支援の「出張相談」に「センターだより」と、当センターで実施しているコロナ禍によるステイホームを楽しむ応援企画、「大人のぬりえ」、「チャレンジ数独」のお試し版の配布を依頼する。また、区内公園にて月 2 回、老人クラブ「歩こう会」でも継続して配布を行った。

上福島地域は、老人クラブが福島区老人クラブ連合会を脱退しているので老人クラブ(福寿会)への「センターだより」の提供。さらに、連合町会との新たな取り組みとして 8 連合町会向けに回覧用の「センターだより」配布をテスト的に実施した。

区社協の各組織とも連携・共有を図り、高齢者の相談に的確に対処する体制の再構築を図った。

エ 「老人クラブ活動の支援」

福島区老連会長、副会長とは常にコミュニケーションを図り、センターで毎月開催される区老連会長会には館長が参加した。また、毎月下福島公園で開催される「歩こう会」にも館長が参加し、老人クラブとセンターの情報共有、連携を図った。

お互いに加担者を増やすべく来期に向けての活動もすすめている。

オ 「同好会の支援による活性化」

3 年を超えるコロナ禍も終わり、4 月 1 日の時点では 25 ある同好会活動がすべて活動できる体制になった。各同好会の代表者と密に話し合いを行い各種支援した。

会員数が減った同好会の一部では、加入促進の相談があり館長より各地域への働きかけを行い増員になった。

感染症は、コロナ感染症だけではないので「代表者会議」での注意喚起、情報提供を行い安心、安全の中で健全な活動を支援した。

(2)施設の維持管理

(様式 1)

日常の清掃時の点検を基本に、定期的に館内巡視を実施した。軽微な修繕を有するものについては職員が修繕を行った。当センターは、築52年以上経過しており、定期的なメンテナンスにより建物の維持管理につとめるとともに、建築基準法等関係法令により定められた法定点検を行った。また、「市設建築物日常点検ハンドブック」に記載された検査項目による点検を現場の統括責任者である館長が行い、現状の把握及び破損箇所等の早期発見等、利用者への事故や危険性防止に努めた。

また、はじめて福島区福祉複合施設の全面外壁工事を実施した。安心安全に注力し、諸問題があったが半年で完了した。

実施項目

- ア 日常清掃 開館時間前、閉館後 イ 定期清掃 月1回（外溝、排水等）
ウ 日常点検 清掃時 エ 定期点検（職員による）
 a. 通常空調設備点検 月1回 b. 定期空調設備点検 年2回
オ 定期点検（業者による）
 a. 建物・設備点検 年2回 b. 電気点検 月1回 c. 自動ドア 年3回
 d. エレベーター点検 月2回

(3)職員の配置状況

施設長 1名、職員 0名・嘱託職員 3名

(4)感染症拡大を防止するための対策等の状況

福祉局、福島区役所 区長、保健福祉課長とも情報共有をし相談しながら進めた。

特に、コロナ感染症が5類に移行されるまで相談を実施しその後については、コロナ感染症、ノロウイルス、インフルエンザ等への情報提供と対策をとった。

- ・ 利用者のマスク着用は、利用者の判断としマスクを忘れた方への対応。
- ・ 玄関、トイレ、各部屋にアルコール消毒液の設置。利用者判断で励行できるよう継続。
- ・ 空気清浄機を各部屋に設置。
- ・ 職員はマスク着用、アルコールにより備品、椅子、テーブルの消毒の励行。
- ・ 各部屋の換気は常時2方向とし、換気扇、空気清浄機も使用。
- ・ 給茶機用コップは紙コップへ、トイレのハンドドライヤーはペーパータオルへと変更。
- ・ 玄関ロビーに検温カメラを設置し、受付はビニールカーテンを設置。事務所内の机はアクリル板を設置して職員間の感染防止を継続。
- ・ 同好会活動は会員へ消毒スプレーを貸し出す対応は継続。

(5)危機管理・安全管理（事故防止等安全対策、災害等緊急時の対応への準備）

利用者の転倒事故等の防止として日常より、段差解消及び備品設置等に注意を払っている。また、事故発生時の対応マニュアルを事務所内に掲示して、適切で迅速な対応が取れるようにしている。

AED の設置。また、各種講座及び館外行事等においては、保険に加入し万が一に備えた。

地震、火災等の災害時の緊急対応については、併設の海老江保育所、子ども子育てプラザと年間 2 回、合同避難訓練（6/9 洪水避難訓練、3/1 火災避難訓練は消防署通達による各施設の利用者・職員による、避難経路確認、消火器配置確認、水消火器による訓練、煙幕体験。発電機始動訓練。）を実施した。

当センターは、区役所との協定によって災害時に福祉避難所として供用する。12/2 には災害発生を想定して、区社協災害対策本部設置訓練及び災害ボランティアセンター開設訓練を実施。迅速に適切な災害対応が行えるよう、区社協災害対策本部設置訓練を実施するとともに、災害ボランティアセンター開設までの経過を確認した。また、すみやかな被災者支援につなげる訓練を実施した。9/25、10/5 区社協による災害ボランティアセンター運営スタッフ養成講座に参加。現在、防災無線を区役所用、区社協用と 2 台配備している。また、災害時にあたり職員の安否確認アプリも導入している。

2 利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
延利用 人数	1,688	1,769	1,883	1,668	1,518	1,737	1,792	2,007	1,693	1,636	1,646	1,837	20,874
登録 者数	198	41	30	17	10	16	14	18	16	11	12	28	411

3 実施事業

(1) 事業報告

① 事業計画 (P)

身近な高齢者施設としての役割を果たすべく、利用者サービス向上を図った。

「介護予防の拡充」「生きがいと健康の追及」「相談・情報提供事業」「老人クラブの活動支援」「同好会支援による活性化」の 5 点を重点項目として高齢者のニーズに合わせて取り組んだ。

コロナ禍が長期になり、利用者の感染不安に対するケアと感染防止対策をタイムリーに実施した。しかし、利用減少する中で、高齢者の孤立、虚弱や認知症の進行が危惧される。これらの進行防止の為に、「健康・介護予防」を基本とした。学習・体験ができる講座は利用者の要望も高い為、前年度のアンケートを参考に企画開催した。また、アウトリーチとして月 2 回の区内公園で実施の、老人クラブ「歩こう会」で、認知症予防として当センターで人気の「チャレンジ数独」、「大人のぬりえ」をコロナ禍でのステイホーム応援企画として配布を行った。同じく、区社協 地域包括支援による「出張相談」時にも配布を依頼し実施した。

館内は感染予防対策を行い、利用者が安心して利用できるように運営した。また、館

内設備の不具合・故障個所の修理、EC0の推進を図った。
3年かけて対応したLED化により美観を保ち省エネが出来た。

② 活動内容 (D) (今年度の取組内容)

◆健康づくりと介護予防の促進講座

事業名	事業内容	実施日	実施場所
出前講座:区役所 「心の健康」 保健福祉課	ストレス、うつなどの予防や、アルコールとの上手な付き合い方や睡眠など、「こころの健康」についての講話。	11/1	福島区老人福祉センター クラブ室
お口の中の健康 「口腔ケアの必要性」 中村歯科クリニック	オーラルフレイルのことや、口腔ケアの必要性について詳しく、分かりやすく講話。	11/29	福島区老人福祉センター クラブ室
「認知症」～歯って得する健口講座～ 福島区社協(認知症・歯科衛生士)	認知症について考えるとともに、「お口の健康と認知症」得する講話。色々な、「相談窓口」も教えてもらった。	2/27	福島区老人福祉センター 大広間

◆健康・体力づくり事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所
気功～体内の気を巡らせる～ 大阪市生涯学習インストラクター	呼吸に合わせて体を伸ばしたり・ねじったり、ストレスでの頭痛や肩こり・関節が痛むなどの体の不具合を未然に防ぐことを会得する。動くことで交感神経や血流の循環を整えて、免疫力を高めることを学ぶ。	8/25 9/29	福島区老人福祉センター 大広間

ノルディックウォーキング体験教室 ez to up パーソナルトレーニングジム	2本のポールを持って歩くことによって、腰や脊髄を回転させる上半身の運動が加わる。足や腰への負担を軽減しながら運動効果を高めるウォーキング方法の指導を頂いた。	10/16 10/23	福島区 下福島公園
姿勢について知ろう ～たいかん(体感・体幹)しよう 西大阪訪問介護ステーション	姿勢チェック、体操、ストレッチ、お悩み相談など。 区社協:生活支援体制整備2名、介護予防支援1名、医療介護連携相談支援室1名も参加し、色々な相談に対応した。	1/13	福島区老人福祉センター 大広間

◆生きがい探求講座・教養講座

事業名	事業内容	実施日	実施場所
実用書道～熨斗の表書き～ 東京書道教育会	普段使いの文字、実用的な書を身につける。今回は、熨斗の表書き。	4/25	福島区老人福祉センター クラブ室
ドコモ「スマホ教室：応用編」キャッシュレス決済をはじめる ドコモショップ福島店	キャッシュレス決済の方法を学ぶ。 自身のスマホを使用(ドコモのスマホを借りることも可能) テキストを見ながらの体験後、質問、相談もできるようにした。	5/18 5/19	福島区老人福祉センター クラブ室
(株) 明治食育セミナー「上手に食べて元気に長生き」 (株) 明治関西支社	低栄養のリスク、予防、ヨーグルトと乳酸菌の講話。 健康寿命を延ばすための栄養の摂り方やヨーグルトの中の乳酸菌の働き等、分かりやすく講話いただいた。	5/30	福島区老人福祉センター クラブ室

スマホアプリ活用講習会 「オンデマンドバス」を予約しよう Osaka Metro	スマホで乗降場所を指定し、バスの迎いの予約方法などの操作を体験。	6/1	福島区老人福祉センター クラブ室
スマホアプリ活用講習会 アプリ、電話で簡単に呼べる「mobi」 CmmunityMobility (株)	スマホで乗降場所を指定し、バスの迎いの予約方法などの操作を体験。	6/15	福島区老人福祉センター クラブ室
ヤクルト健康セミナー「腸から整えるカラダとココロ」 近畿中央ヤクルト販売 (株)	ヒトと腸内細菌は共生している。いつもでも健康で健やかにいるために腸内フローラはヒトの一生にわたるパートナーであることを学ぶ。	6/30AM・PM	福島区老人福祉センター クラブ室
漢字 DE 脳トレ 知れば楽しい漢字の話 大阪市生涯学習インストラクター	楽しく遊びながら漢字の魅力を再発見。漢字に関する様々な知識を分かりやすく解説。	7/19	福島区老人福祉センター クラブ室
食育講座「プラス乳酸菌セミナー」 雪印メグミルク (株)	カルシウムを多く含む、牛乳、ヨーグルト、チーズを使ったメニューを紹介。「おいしさの発見」のきっかけづくりをする。	7/21	福島区老人福祉センター クラブ室
ソフトバンク「スマホ活用講座」LINE 操作・スマホ決済 ソフトバンク (株)	LINE のスタンプや写真の送信・友だち追加・グループ作成とグループトーク体験など。スマホ決済の概要・PayPay 体験。その他 QR コードの読み取りや使い方を学ぶ。	8/29AM・PM	福島区老人福祉センター クラブ室

ソフトバンク「スマホで防災に備えよう」 ソフトバンク (株)	身近に起こりうる災害について、防災情報を知る方法を学ぶ。 防災速報・天気予報(雨雲レーダー)・災害伝言ダイヤル、LINE を防災に活用、音声アシスタントなどを学んだ。	8/31AM・PM	福島区老人福祉センター クラブ室
おとなのための朗読講座 音読による脳トレ 大阪市生涯学習インストラクター	脳の働きは、使わないで次第に衰えてくることが分かっている。脳も適度な刺激を与えることで働きをよくする。お勧めなのが音読である。	9/1 9/15	福島区老人福祉センター クラブ室
ハーブの香りを楽しもう 香りの小物づくり 大阪市生涯学習インストラクター	香りの話と、クローゼットや靴箱などいろいろな場面で香りを楽しむことが出来る香り袋を作成する。	10/18	福島区老人福祉センター クラブ室
漢字 DE 脳トレ 2 知れば楽しい漢字の話 大阪市生涯学習インストラクター	楽しく遊びながら漢字の魅力を再発見。漢字に関する様々な知識を分かりやすく解説。	10/31	福島区老人福祉センター クラブ室
ドコモ「スマホ教室」 初めてのスマホ体験教室 ドコモショップ福島店	初めての方を対象に、スマホの基本操作を体験する。自分のスマホ(アンドロイド、アイホンどちらでも)で学ぶ。テキストを見ながらの体験後、質問、相談ができるようにした。	12/6 12/7	福島区老人福祉センター クラブ室
苔玉作り体験教室 心とむ苔玉のある暮らし 大阪市生涯学習インストラクター	初心者でも簡単にできる、癒し効果のある苔玉を作って楽しむ。 人気があり、申込多数となるので午前、午後の2回に分けて対応。	12/11AM・PM	福島区老人福祉センター クラブ室

◆生きがいつくり事業

風鈴まつり	酷暑の中、夏の風物詩で少しでも涼しさを感じて頂いた。寄付された風鈴、手づくりのモビールなどで館内を彩った。	7/1～9/末	福島区老人福祉センター ロビー
七夕まつり	6/27 より窓口前設置の笹に願いを込めて短冊や七夕飾りを吊った。 7/5 は大広間にて同好会による発表会を開催(笹は舞台横に移動)	6/27～7/7	福島区老人福祉センター 大広間、ロビー
施設見学 大阪市中央卸売市場	大阪の台所である大阪市中央卸売市場が果たす役割と食品が家庭に供給されるまでの経路を体験する。	11/24	JR 環状線野田駅集合 大阪市中央卸売市場見学

◆地域間交流・世代間交流事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所
節分工作と豆まき	プラザ利用の乳幼児と保護者、センター利用者との世代間交流を図る季節行事。	1/26	福島区子ども・子育てプラザ 4 階軽運動室

◆啓発活動・啓発講座

事業名	事業内容	実施日	実施場所
「成年後見制度を知ろう」 どのように利用するの コスモス成年後見サポートセンター	「法定後見制度」と「任意後見制度」の違いや利用方法など、判断能力が十分となった人を法的に保護する制度「成年後見制度」の内容が分かるセミナーである。	6/16	福島区老人福祉センター クラブ室
消費者トラブルに合わないために 未然にトラブル防止	よくある消費者トラブルについて注意が必要な手口や未然に防止する方法を分かりやすく解説した。	10/4	福島区老人福祉センター クラブ室

◆その他

事業名	事業内容	実施日	実施場所
第 10 回きらめきミーティング 「深津区長と話そう!」	福島区長とのセンター利用者との車座集会。 事前に質問、意見を募集し区長より回答。また、当日の意見も受け付けて回答。最後に記念撮影をした。	3/5	福島区老人福祉センター 大広間

③ チェック (C) (成果、課題)

◆健康づくりと介護予防の促進講座

事業名	C (結果)
出前講座:区役所 「心の健康」 保健福祉課	ストレスとの上手な付き合い方を教えてもらい、心と身体の状態は相互に強く関係することを学べたとの感想であった。
お口の中の健康 「口腔ケアの必要性」 中村歯科クリニック	口腔内を清潔にすることは、歯周病を始めとする細菌による病気を防ぐことや口臭の改善につながる事などを学んだ。
「認知症」～歯って得する健口講座 福島区社協(認知症・歯科衛生士)	認知症に関する色々な知識を整理出来てスッキリ、安心が出来たと好評であった。

◆健康・体力づくり事業

事業名	C (結果)
気功～体内の気を巡らせる～ 大阪市生涯学習インストラクター	気功体験教室として1の身体の仕組みを知るから10の平甩功までの10か条を教えた。 大変好評であった。
ノルディックウォーキング体験教室 ez to upパーソナルトレーニングジム	初めてポールを持つ方にも分かりやすく、親切に説明頂き好評であった。アンケートの結果も74%が期待以上に良かったという結果であった。
姿勢について知ろう ～たいかん(体感・体幹)しよう 西大阪訪問介護ステーション	二人組で姿勢のチェック。写真を撮る方は少なかったが体操、ストレッチ運動をした後は、皆姿勢がよくなっていた。

◆生きがい探求講座・教養講座

事業名	C (結果)
実用書道～熨斗の表書き～ 東京書道教育会	アンケートの結果、好評で大変満足な方が多かった。 16名の参加であったが、8名の方で同好会の発足が決まった。
ドコモ「スマホ教室:応用編」 ドコモショップ福島店	ドコモのみでは無く、ソフトバンク、au など他社スマホも親切に教えてもらい、満足された方がほとんどであった。
(株) 明治食育セミナー (株) 明治関西支社	「上手に食べて元気に長生き」のスローガンの元に寿命を延ばすための栄養の摂り方を教わり、満足度の高い講習となった。19名参加で17名は満足(90%)との回答であった。
スマホアプリ活用講習会 「オンデマンドバス」を予約しよう Osaka Metro	本件は、福島区役所、振興町会もすすめており福島区民の利便性向上、結果センター利用者の増加につながるよう企画している。アンケートの結果 87.5%の方が満足であった。参加人数16名。
スマホアプリ活用講習会 アプリ、電話で簡単に呼べる「mobi」 CommunityMobility(株)	件は、福島区役所、振興町会もすすめており福島区民の利便性向上、結果センター利用者の増加につながるよう企画している。アンケートの結果 70.0%の方が満足であった。参加人数は10名と定員の半分であった。
ヤクルト健康セミナー 「腸から整えるカラダとココロ」 近畿中央ヤクルト販売(株)	精神的なストレスで脳が不安や緊張を感じると便秘や下痢になったりする。逆に腸の状態が悪くなると脳が不安を覚えること、いわゆる「脳腸相関」について学んだ。
漢字 DE 脳トレ 知れば楽しい漢字の話 大阪市生涯学習インストラクター	漢字に関する知識の習得だけではなく、関連したクイズやパズル問題なども提供し、楽しみながらの講習会となった。30名募集、参加者27名。満足度は100%であった。
食育講座「プラス乳酸菌セミナー」 雪印メグミルク(株)	栄養価が偏りがちな備蓄品に乳製品を追加し、バランスアップの方法も教えてもらい好評であった。 定員20名、参加25名(5名調整)、アンケート結果は満足度100%であった。

(様式 1)

漢字 DE 脳トレ 知れば楽しい漢字の話 大阪市生涯学習インストラクター	漢字に関する知識の習得だけではなく、関連したクイズやパズル問題なども提供し、楽しみながらの講習会となった。30 名募集、参加者 27 名。満足度は 100%であった。
食育講座「プラス乳酸菌セミナー」 雪印メグミルク（株）	栄養価が偏りがちな備蓄品に乳製品を追加し、バランスアップの方法も教えてもらい好評であった。 定員 20 名、参加 25 名 (5 名調整)、アンケート結果は満足度 100%であった。
ソフトバンク「スマホ活用講座」 LINE 操作・スマホ決済 ソフトバンク（株）	スマホを使いこなすと楽しいことの理解があった。 少し難しい方もあったが、おおむね楽しく学んでもらった。 参加者 21 名、満足度 71.4%であった。
ソフトバンク「スマホで防災に備えよう」 ソフトバンク（株）	防災に興味がある方が少ないのか参加者が少なかった。定員 16 名/回、参加 17 名/2 回であった。 満足度は、82%であった。
おとなのための朗読講座 音読による脳トレ 大阪市生涯学習インストラクター	声を出して読む「音読」は、認知症の予防や口腔機能の改善に期待でき、高齢者の脳トレに効果を発揮することを実感いただいた。
ハーブの香りを楽しもう 香りの小物づくり 大阪市生涯学習インストラクター	香りに包まれた気持ちのよい楽しい講習会であった。 参加者 10 名で満足度は 100%であった。
漢字 DE 脳トレ 2 知れば楽しい漢字の話 大阪市生涯学習インストラクター	漢字に関する知識の習得だけではなく、関連したクイズやパズル問題なども提供し、楽しみながらの講習会となった。20 名募集、参加者 21 名。満足度は 95%であった。
ドコモ「スマホ教室」 初めてのスマホ体験教室 ドコモショップ福島店	テキストを見ながら、自分のスマホで体験するので分かりやすかった。質問も多く納得された感じであった。また、帰って復習するとのコメントもあった。

苔玉作り体験教室 心和む苔玉のある暮らし 大阪市生涯学習インストラクター	観葉植物を使って、手軽なミニ盆栽として人気のある苔玉を作った。作る楽しさ、インテリアとしての癒しを感じてもらった。 参加者は19名で満足度は100%であった。
--	--

◆生きがいつくり事業

事業名	C (結果)
風鈴まつり	夏の風物詩として当センターの季節行事となっている。ロビー、広間廊下に風鈴を吊るし、涼しげな音色を奏でた。また、手づくりのモビールも彩りを添えた。
七夕まつり	コロナ禍で休止していた、同好会による発表会も4年ぶりに開催されて盛大に行われ利用者の笑顔が戻ってきた。
施設見学 大阪市中央卸売市場	大阪市中央卸売市場の仕組、役割について学んだ。また、食品が家庭に供給されるまでの経路も学んだ。 JR 野田駅から大阪市中央卸売市場までの往復のウォーキング、市場での施設見学、買い物も好評であった。 参加者 27 名、

◆地域間交流・世代間交流事業

事業名	C (結果)
節分工作と豆まき	0歳から就学前の乳幼児とその保護者と利用者が工作や豆まきをして楽しんだ。 8名が参加し、子ども・子育てプラザとの世代間交流がコロナ禍を超えて4年ぶりに再開できた。

◆啓発活動・啓発講座

事業名	C (結果)
「成年後見制度を知ろう」 どのように利用するの	定員 20 名に対して 22 名が参加。難しい内容であったが興味のある方ばかりなので質問も多かった。 資料も豊富で帰宅後、復習するなどの声もあった。 アンケート結果での満足度は、86%であった。
消費者トラブルに合わないために 未然にトラブル防止	定員 20 名に対して参加者 7 名であった。 参加された方は、ニュースなどの情報に耳を傾けており質問も多かった。 満足度は 100%であった。

◆その他

事業名	C (結果)
第 10 回きらめきミーティング 「深津区長と話そう!」	当センターの恒例行事となっている。深津区長はコロナ禍でも 3 年連続で参加頂いた。利用者、老人クラブの方との交流が出来た。 今回はあいにくの悪天候だったので参加者は 18 名であった。

④ 改善策 (A) (次年度に向けた改善内容)

◆健康づくりと介護予防の促進講座

事業名	A (改善)
出前講座:区役所 「心の健康」 保健福祉課	個人の資質や能力の他に、身体状況、社会経済状況、住居や職場の環境、対人環境など多くの要因が影響する。心の健康に作用する長期のコロナ禍明けの時期なので来期も検討する。定員 20 名に対して 10 名の参加であったので区社協とも連携して参加者を増やしたい。
お口の中の健康 「口腔ケアの必要性」 中村歯科クリニック	生活の中での食事の楽しみを増幅させ、人生を謳歌できる期間を伸ばすことに良かったと好評であった。来期も福島区歯科医師会、区社協とも協力して実施したい。定員 20 名に対して 11 名の参加であったので区社協とも連携して参加者を増やしたい。

認知症」～歯って得する健口講座 福島区社協(認知症・歯科衛生士)	3年を超えるコロナ禍で認知症の方も増えている。正しい知識、相談窓口などを知ってもらい、早期発見、早期治療につなげるため来期も企画したい。定員 20 名に対して 16 名の参加であった。大広間なので更に定員を増やして検討したい。
-------------------------------------	---

◆健康・体力づくり事業

事業名	A (改善)
気功～体内の気を巡らせる～ 大阪市生涯学習インストラクター	昨年のアンケートで要望のあったメニューであり大変好評であった。2 回開催での定員 40 名に対して 46 名の参加であった。来期も検討したい。また、大広間なので更に定員を増すことも検討したい。
ノルディックウォーキング体験教室 ez to up パーソナルトレーニングジム	センター外の活動として実施したが正しい歩き方で、運動効果がアップした。終了後のアンケートでも以前より良く動ける等、参加者は改善の実感があった。センターより遠いので近くで来期も企画検討したい。
姿勢について知ろう ～たいかん(体感・体幹)しよう 西大阪訪問介護ステーション	区社協、介護連携相談支援室、老人福祉センターと三者共催で開催できたのは良かった。 アンケートでは骨粗しょう症等、レシピに関しても等の要望もあるので来期は検討したい。

◆生きがい探求講座・教養講座

事業名	A (改善)
用書道～熨斗の表書き～ 東京書道教育会	アンケートの結果、大変満足の方が多く講習終了後 8 名の方による自主的な同好会の発足が決まった。センターの講習会から同好会発足へは狙いの一つでもあり良かった。今後は、同好会活動の支援をしたい。
ドコモ「スマホ教室:応用編」 ドコモショップ福島店	アンケートの結果、満足度が高く 12 月にも追加開催した。「スマホ教室:応用編」については、アンケートのニーズを更に深掘し来期も開催を実施する。
(株) 明治食育セミナー (株) 明治関西支社	講習を受けた利用者の満足度が高く(90%が満足)感謝のコメントも多数頂いた。本講習の改善としては無いが(株) 明治関西支社は定評があるため、来期は本件の再検討もしくは違う切り口での企画検討をしたい。

(様式 1)

スマホアプリ活用講習会 「オンデマンドバス」を予約しよう Osaka Metro	オンデマンドバスは令和6年度、実証実験より実稼働に移行する。福島区役所、振興町会とも意見交換をし新たに講習会を企画実施する。
スマホアプリ活用講習会 アプリ、電話で簡単に呼べる「mobi」 CmmunityMobility(株)	「mobi」は令和6年度も実証実験の継続が決定。 利用料金は500円になり高齢者のニーズが下がった。(オンデマンドバスは300円)来期は講習は見送り、他のスマホ講習の企画をしたい。
ヤクルト健康セミナー 「腸から整えるカラダとココロ」 近畿中央ヤクルト販売(株)	体の仕組みについて詳しく学んで好評であった。 アンケートの結果、利用者の満足度は100%であった。 令和6年度も企画し実施したい。
漢字DE脳トレ 知れば楽しい漢字の話 大阪市生涯学習インストラクター	楽しく学べてアンケート結果は受講者27名全員が満足度100%であった。 大変、好評のため令和6年度も継続したい。
食育講座「プラス乳酸菌セミナー」 雪印メグミルク(株)	楽しく学べてアンケート結果は受講者25名全員が満足度100%であった。 大変、好評のため令和6年度も継続したい。
ソフトバンク「スマホ活用講座」 LINE 操作・スマホ決済 ソフトバンク(株)	アンケート結果の満足度71.4%であり、少し理解が難しい方がいたと思われる。 令和6年度は、アンケートを分析しもう少し理解度があがるように工夫したい。また、何回も開催してほしいとのコメントもあり期待に応えたい。
ソフトバンク「スマホで防災に備えよう」 ソフトバンク(株)	参加人数が定員の約半分であったが内容的には満足度は82%であった。区社協、区役所、振興町会も防災への気運も高い。来期は広報活動を検討し継続して行いたい。
おとなのための朗読講座 音読による脳トレ 大阪市生涯学習インストラクター	参加人数もほぼ定員であり、満足度は100%であった。センター利用者は70～80歳代が殆どであり令和6年度は更に一般介護予防に注力の計画のため、継続で企画検討したい。
ハーブの香りを楽しもう 香りの小物づくり 大阪市生涯学習インストラクター	参加者の満足度は100%であり、香りに包まれて手先を使い小物を作る企画はセンターとしては必要である。参加数は抽選で限定されるが令和6年度も企画検討したい。

ドコモ「スマホ教室」 初めてのスマホ体験教室 ドコモショップ福島店	参加者の満足度は 68%と以外と低かった。理解の少ない方の参加が多かったためと分析する。アンケート結果を更に分析し初心者向けの講習をブラッシュアップし令和 6 年度も検討したい。
漢字 DE 脳トレ 2 知れば楽しい漢字の話 大阪市生涯学習インストラクター	楽しく学べてアンケート結果は受講者 27 名全員が満足度 100%であった。 大変、好評のため令和 6 年度も継続したい。
苔玉作り体験教室 心和む苔玉のある暮らし 大阪市生涯学習インストラクター	参加者の満足度は 100%であり、アンケートによる要望も高い。毎年恒例となっており人気が高いので令和 6 年度も継続検討したい。

◆生きがいつくり事業

事業名	A (改善)
風鈴まつり	当センターの夏の風物詩として定着している。 毎年、折り紙同好会の手づくりモビールなどの飾りの展示も人気のため、今後も継続する。 今後は、更に工夫を凝らし「涼ん抛」を目指す。
七夕まつり	当センターの季節行事として定着している。 コロナ禍が終わり、同好会による発表会も再開したので令和 6 年度は、カラオケ主体から演芸も加えて盛大に開催したい。
施設見学 大阪市中央卸売市場	大変好評であり、参加者の満足度も高い。 令和 6 年度も継続をしたい。 センターより遠い地区なので野田地区の連合振興町会との交流も更に図り、盛り上げて行きたい。

◆地域間交流・世代間交流事業

事業名	A (改善)
節分工作と豆まき	大変好評であり、参加者の満足度も高い。 子ども・子育てプラザとの世代間交流事業として 今後も継続して行く。

◆啓発活動・啓発講座

事業名	A (改善)
「成年後見制度を知ろう」 どのように利用するの	判断能力が低下した家族がいる場合など、制度の 利用を考慮する方に行政書士より制度の内容、利 用方法を教わる機会は必要である。 今後も継続を検討したい。
消費者トラブルに合わないために 未然にトラブル防止	悪徳業者よりの電話勧誘や訪問による詐欺が横行 している中、特に高齢者を狙ったものが増えてい る。当センターは被害者を出不さないために令和 6 年度も継続を検討したい。

◆その他

事業名	A (改善)
第 10 回きらめきミーティング 「深津区長と話そう!」	当センター利用者、老人クラブの加入者と福島区 長との意見交流の場なので継続する。 令和 6 年度は第 11 回となる。

(2)平等利用の確保

高齢者の生きがいづくり等を支援する老人福祉センターの運営にあたり、平等利用については、特に「情報の提供」「利用・参加の機会」に十分に配慮し、障がいや外国にルーツのある高齢者が利用できるようソフト面とハード面に配慮したバリアフリー対応を行う。

① 情報の提供

- ・「センターだより」、区社協の機関紙、区広報紙、区社協のホームページやFacebook、福島区民等を対象とした地域情報サイトへの掲載によるインターネット媒体等、マルチに情報の提供を行ない、利用者世代の次世代にもアピールを行う。
- ・定員や申込み締切日等が設定されている事業については、相当の期間を設けて周知を行い、情報へのアクセスの差を無くす。
- ・当センター発行の「センターだより」は住民に身近な各地域のコミュニティセンター、各单位老人クラブの配架・掲示を行っている。
- ・アウトリーチとして、「センターだより」を、区老連「歩こう会」にて配布(4/26、5/24、6/28、9/27、10/25、11/29、12/26、1/24、2/28、3/27)、区社協 地域包括支援センター「出張相談」時に配布 (URリバーサイド鷺洲6/29、10/19、2/19他各地区のマニション等23回、計26回) イオン定例相談会でも11回配布。福島区役所11回。大阪厚生信用金庫5回。

② 利用・参加の機会

- ・利用や参加に関する情報は館内掲示やHP、広報紙等に記載し周知する。
- ・正当な理由なく利用や参加を拒むことを行わない。
- ・同好会の利用については、定例の代表者会議で同好会の利用調整を図る。
- ・センター運営全般は、地域関係者及び区役所職員を委員とする施設運営委員会を開催し、各委員の意見・助言を参考に、平等・公正な運営に努める。

① 利用者サービスの向上策

- ア 利用者のサービス利用に関する評価やニーズをアンケートにて把握する事で、より良いサービス提供を目指した。
- イ 同好会活動等で常時利用する利用者については、「利用者個別代表者打合せ」を開催。利用にあたり、課題点を把握しその解決策を代表者と検討。感染症への注意事項など、情報・状況を館内掲示や「センターだより」に掲載。
- ウ 部屋利用のスケジュールを利用者代表者にて調整を行うとともに、空き部屋がある場合はその状況を公表し、追加利用の受付をして、施設の有効活用を行った。
- エ 車いすの貸出業務として館内に常備し、希望者に車いすの貸出を行った。
また、突然の雨に対応して貸傘を用意した。

(4) センターの利用促進策

センターだより等の広報紙やチラシの配付や、市・区社協のホームページや地域情報サイト等のインターネットによる情報発信を積極的に行い、情報の提供に取り組んだ。また、「センターだより」の配付は区社協、区役所、警察署、区民センター、図書館、コミュニティセンター、会館、10地域老人クラブ役員へ配付した。また、老人クラブの月2回、公園での「歩こう会」にて配付して広報活動を拡大した。一方、一人暮らし等で情報が十分に入手できない高齢者に対しては、当法人の事業(地域包括支援センター事業、地域における要援護者見守りネットワーク強化事業、介護予防運動クラブ事業、生活支援体制整備事業、地域の福祉活動サポート事業)担当者と連携した情報提供した。また、商店街、区役所、厚生年金会館等、において「出張相談」での「センターだより」の配布をした。区社協が事務局を務める居宅介護支援事業者連絡会等の各種福祉事業所連絡会等での関係者への情報提供を通して、高齢者に情報が届くよう取り組んだ。また、高齢者本人への情報提供だけでなく、区社協が事務局を務める「家族介護者のつどい」(家族介護者支援事業)の参加者や、高齢者の家族(高齢者の子ども世代や孫世代)への情報提供を通して、高齢者に情報が届くよう取り組んだ。

また、センターは福島区の中で北側にあるため、センターに来所するのに遠い地域がある。これらの地域の登録者を増やすために、地域振興会会議、民生委員長会議、女性会議等にも館長が参加しセンター利用者の拡大のお願いをした。

具体的には連合町会長、老人クラブ会長等に協力頂き、区社協職員とも協働して新たな取り組みをした。

① 玉川地区のマンション(町会)で2棟、案内状にセンターだよりを添えて配布した。

ユニハイム 998戸 約 2,000名居住 7名新規登録

スカイハイツ 128戸約 160名居住 2名新規登録

② 3月度のお誕生日会にて福島コミュニティセンター、玉川コミュニティセンターを Zoom で繋いでセンターの楽しいお誕生日会に Zoom 参加頂いた。

二つのことも、センターの認知度をあげて利用促進を狙って実施をした。

来年度に向けて継続を検討すると共に、センターが大阪市の「通いの場」の施設として役目を果たすよう、老人クラブ、ボランティア・市民活動センター(43団体)、10地域のコミュニティセンター・福祉センターとの情報共有、連携を推進したい。

(5) 利用者からの苦情・意見・満足度の把握

- ・苦情対応については、受付職員が1次対応者となり、センター運営の改善への要望(サービス向上)と捉え、真摯に対応した。その内容を職員全員が共有するとともに、2次対応者(館長)が、苦情内容が拡大しないよう職員への指示を行うとともに、担当局に報告。対応策を検討して迅速実施した。
- ・講座の受講等で利用する利用者については、講座等最終日に時間を設けてアンケートを実施、利用満足や課題を把握する。

4 地域との連携・人材育成

(1) 地域の関係団体・施設との連携

当センターは、地域住民や地域組織、ボランティア団体やNPO、社会福祉施設・事業所、企業、行政等とのネットワークを構築し、連携と協働する。

① 高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう、各種機関・団体が有する専門的知識や情報を提供する講座や研修会の共催事業を行う。

- ・ 福島区役所、区地域包括支援センターや認知症初期集中支援推進事業と連携した認知症や介護予防講座の実施(大広間:11/1)。
- ・ 歯科医師会の協力でお口の中の健康「口腔ケアの必要性」セミナー実施(クラブ室:2/27)
- ・ 当法人受託の生活支援体制整備事業と連携した介護予防事業の実施。
- ・ 区役所・保健福祉センター及び福島警察署、福島消防署をはじめ福島区老人クラブ連合会ならびに各単位老人クラブ、シルバー人材センター等の関係機関、コミュニティセンター等の公共施設ならびに地域の社会資源との連携を深めた。

② 老人福祉センターが有する資源や機能を地域へ提供し、地域福祉の推進に取り組んだ。

- ・ 区内各地域単位の老人クラブの連合組織である区老人クラブ連合会の事務局に対し、当連合会の運営ならびに行事やイベント等の企画運営の支援をした。
- ・ 利用者のサービス利用に関する評価やニーズをアンケートにより把握するとともに、企画や検討の段階に、利用者が「利用者代表者会議」を通して、より良いサービス提供を目指した。
- ・ 同好会活動等で常時利用する利用者については、「利用者代表者会議」を開催して、課題点を把握し、職員と利用者が解決策へと取り組む。また、進捗状況を館内掲示やセンターだよりに定期的に掲載した。

(2) 人材育成・ボランティア活動支援等

高齢者の生きがいづくりの支援から、地域等への貢献活動に繋げていくことで、更なる生きがいや社会的役割の機会を提供し、高齢者の人材育成を行った。

- ・ 介護予防ポイント事業の介護予防ポイントボランティア活動の機会の提供をした。
- ・ 区社協が実施している福島お助けネットワーク事業(有償活動による住民同士の助け合い)を通して、サポーター活動への参加の機会の提供をした。
- ・ 福祉・看護・介護系の大学・短大、専門学校から実習生を受け入れ支援指導。専門職養成の支援。看護専門学校/15名、5/30、5/31。医療専門学校/4名 10/14。社会福祉援助技術現場実習/2名、6/1、8/31。

5 その他**(1) 職員研修の実施状況**

令和 5 年度も引き続き、大阪市社会福祉協議会と連携して、地域福祉、コンプライアンス、人権研修等を受講。

日時	場所	参加人数	テーマ	研修方法	時間
6/8	福島区社協	1 名	「包括的な支援体制の構築に向けた社協の役割」	オンライン (Zoom)	1. 5Hr
6/16	本庁舎第 10 共通会議室	1 名	自家用電気工作物保安教育講習会	対面	2. 5Hr
8/24	福島区老人福祉センター	1 名	第 1 回大阪市社会福祉施設職員人権研修	動画視聴	1. 5Hr
9/25	福島区社協	2 名	職員全体防災研修	動画視聴	1. 5Hr
10/5	福島区社協	2 名	職員全体防災研修	動画視聴	1. 5Hr
12/19	福島区老人福祉センター	1 名	第 2 回大阪市社会福祉施設職員人権研修	動画視聴	1. 5Hr
1/25	福島区老人福祉センター	1 名	第 3 回大阪市社会福祉施設職員人権研修	動画視聴	1. 5Hr
2/22	福島区老人福祉センター	1 名	第 4 回大阪市社会福祉施設職員人権研修	動画視聴	1. 5Hr
3/5	福島区社協	1 名	職員全体研修「コンプライアンス研修」	動画視聴	1. 5Hr
3/13	福島区社協	1 名	職員全体研修「コンプライアンス研修」	動画視聴	1. 5Hr
3/15	福島区社協	1 名	職員全体研修「コンプライアンス研修」	動画視聴	1. 5Hr

(2) 個人情報の保護・情報公開について

利用申請手続き、各種事業への参加申込み等において取扱った個人情報は、関係法令をはじめ「大阪市個人情報保護条例」を遵守して取扱った。当協議会の個人情報の保護に関する方針を基本として、「個人情報保護規定」により、情報の漏洩や利用証の管理を的確に行った。また、個人の権利・利益の侵害防止するため、最大限必要な措置を講じた。

また、地域による地域のための施設であることを一層明確にし、住民本位の開かれた施設運営を行った。施設運営の透明性を確保するとともに、住民が必要とする情報を適切に公開し、住民参加を促進するように努めた。

(様式 1)

住民の理解と信頼を確保するために、個人に関する情報は最大限に保護することを基本にして、「大阪市情報公開条例」の趣旨を踏まえ、適切に情報の公開を行った。

(3) 職員の労働条件の確保・環境への配慮

- ・働き方改革によるタイムレコーダーの労働時間を管理徹底、年次有給休暇の最低5日取得の徹底。全職員による「ストレスチェック」のシート受診や産業医による安全衛生委員会を月1回開催している。
- ・高齢者に負担の無い範囲で環境への配慮として節電・節水し、コピー機もリフレッシュリサイクル製品を使用。

6 収支決算状況

(単位：円)

収 入 (項目)		内 訳	計 画	決 算
	業務代行料	大阪市からの業務代行料	17,000,000	17,000,000
	雑収入等	参加費収入	50,000	214,067
収入合計 (A)		—	17,050,000	17,214,067
支 出 (項目)		内 訳	計 画	決 算
	人件費	職員 4 名分	13,650,000	13,575,089
	物件費	事業費、管理費、その他	3,400,000	3,638,978
支出合計 (B)		—	17,050,000	17,214,067
収支 (A) - (B)			0	0

【計画と決算の差額の主な理由】

- ・館長他の人件費の減。
- ・コロナ禍の影響による事業の自粛、経費節減効果及び感染予防対策の費用差額が出た為。

【経費節減のために主に取り組んだこと】

- ・高齢者に負担の無い範囲で環境への配慮として節電・節水し、印刷物の裏面利用、ECO 照明の LED 化が完了したので節電効果が出た。

以 上